

広報 きょうほく

昭和60年10月1日

第3号

発行所 峡北広域行政事務組合

編集 消防本部総務課

印刷所 (株)サンニチ印刷



あなたが防火の主役です

あなたにも 出来る 出来ます 初期消火!!

一一九番を回しても消防車はすぐにはやって来るわけでは
ありません。火元に到着するまでには多少の時間がかかります。
被害を最小限にするためには「火が床をはつたり、ふすまや障子に移ったりして天井に炎が達するまでの三分から五分」。この間のあなたの勇気と行動が大きな火災を防ぐキーポイントです。



消火訓練、救急手当法の指導をします。お気軽に近くの消防署へ

昭和60年度峡北広域行政事務組合当初予算

総額 9億2470万5千円

(きゅうびょうに よ なか は いつも救急車)

地域住民のくらしと

安らかな眠りのために…

当組合の子算は次の五つの会計から成り立っており、一部の手数料、使用料収入等を除きそのほとんどが関係する市町村の負担金でまかなわれています。

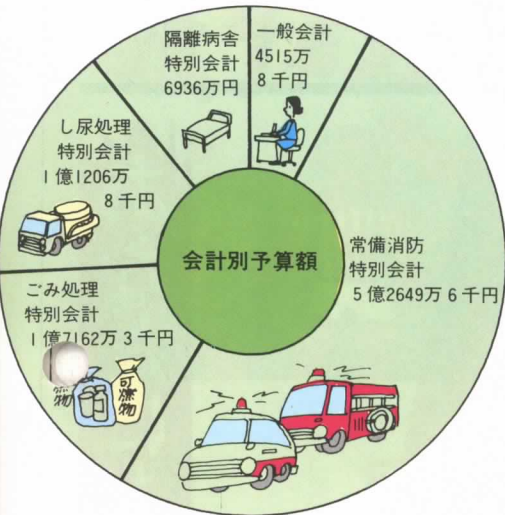
一般会計 組合全体の運営や各部門の調整をする事務部局の経費です。

常備消防特別会計 消防車や救急車の運行に要する経費で、本年度の重点施策は長坂消防署へ配備するタンク車の購入です。

ごみ処理特別会計 みなさんの台所から出る生ゴミや、不燃物の処理をする施設の運営に要する経費です。

し尿処理特別会計 人間の健康のバロメーターともいわれるし尿、そのし尿を浄化処理するための経費です。

隔離病舎特別会計 伝染病が発生した場合、患者を隔離して治療を施す施設の維持管理に要する経費です。



消防資料展示室

完成



当本部では消防防災の歴史を後世に伝えるため、現在失なわれつつある消防用機械器具などを展示し保存する消防資料室を設置しました。

この資料室には江戸時代から昭和初期にかけての龍吐水（江戸時代の消防用大型水鉄筒）、腕用ポンプ、刺子（防火衣）、法被、纏、半鐘、ラップ等五十数点が展示されています。毎日、午前八時半から午後五時の間でしたら自由に見学することが出来ますのでぜひ一度御覧下さい。

なお、大正以前の消防、防災に関する器具、資料等を発見したような場合はすぐに御連絡下さい。大切に保存させていただきます。

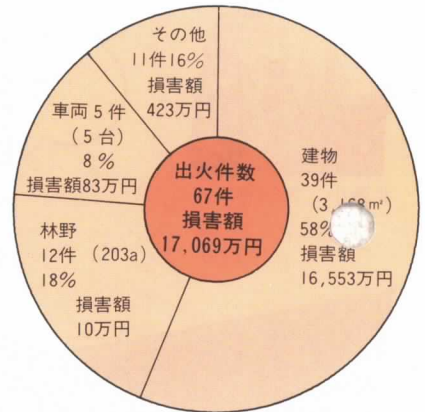
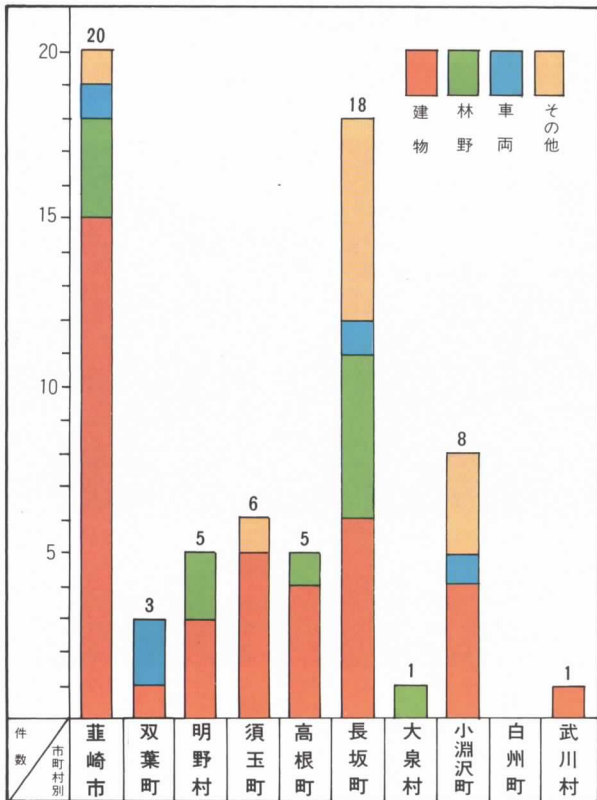
火災

昭和五十九年中の火災件数は六十七件で死者四名、負傷者六名の犠牲者が発生しています。これらの火災によって失なわれた財産は約一億七千六十九万円でした。

死者の発生原因は交通事故による車両火災で脱出できなかったもの二名、放火による自殺二名です。

火災原因別では第一位がたき火や芝焼きによるもの：十五件
 第二位はたばこの投げ捨てなどによるもの：七件
 第三位は煙突のはずれや過熱によるものと、ガスコンロへ鍋などのかけ忘れや消火不完全に

市町村別火災発生件数 (昭59.1~12月)



よるものがそれぞれ五件となっています。

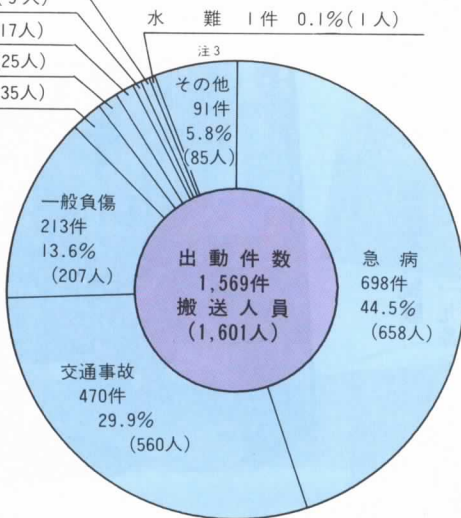
曜日別では木曜日の発生が多く(十六件)、発生時間別では正午から午後一時が魔の時間となっています。

尚、市町村別の発生件数はグラフに示すとおりで、白州町においては火災の発生は一件もありませんでした。

- 火災 8件 0.5% (4人)
- 注1 加害 9件 0.6% (9人)
- 注2 自損行為 17件 1.1% (17人)
- 運動競技 25件 1.5% (25人)
- 労働災害 37件 2.4% (35人)

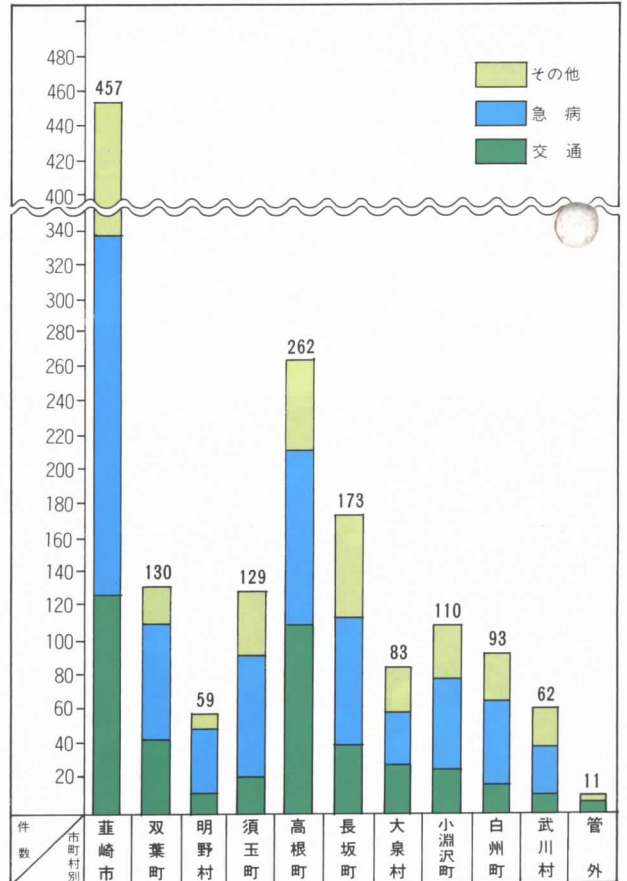
救急

注1 加害とは、けんか等他人によってキズつけられたもの。
 注2 自損行為とは、自殺又は自身にキズをつけたもの。
 注3 その他の内約九十%は医院等から大きな病院への転院搬送。



昭和五十九年中の救急出動件数は、千五百六十九件で千六百一人を搬送しています。その内重症者などは二百九十五人(十八%)、中等症者六百六十九人(四十二%)、軽症者六百三十七人(四十%)で軽症者のしめる割合が依然として多いのが実情です。救急車の利用は原則として病院等への搬送の際、適当な手段がない場合で重症者が優先です。救急要請も年々増加しています。が台数にも限りがありますので、軽症者(例えば急性アルコール中毒など)を搬送しているような時、重症者が発生しても、ただちに心じられないような事態も考えられますので救急車の正しい利用をお願いします。

市町村別救急出動件数 (昭59.1~12月)



の1日

(おたずねにこたえて消防署のある日の1日を紹介します。)



北西小 太田恵美さん

火事のない時、
消防署ではなにを
しているんですか？



①消防長点検



②車両点検

八時三十分 点検交代(写真①)
毎朝の点検では、昨日の火災や救急など業務の申し送りを行ない、消防長署長点検では消防活動において要求される早さと適確さ、秩序ある部隊行動などを行なうための指示や訓示等が行なわれたのち交代し勤務に入ります。
八時四十分 車両点検(写真②)
ポンプ車、はしご車、救急車等の車両や機械器具等を点検整備し、いかなる災害にも対応できるように備えます。



③予防査察

九時 無線定時試験
各車両とも一一九番を受信する指令室と無線で交信し、通話状態が良好かどうか調べます。

九時三十分 予防査察(写真③)
予防査察のため、市内のショッピングセンターへ。(予防査察とは消火器や火災報知器など消防用設備が設置され、また正常に作動するよう点検されているかなどを調べる立入検査です。)
十時二十分 見学(写真④)
幼年消防クラブ員が消防署の見学にきました。(消防署の見学はいつでも受け付けています。但し、事前に電話連絡をして下さい。)



④幼年消防クラブ見学

ファイアマ



十三時三十分 放水訓練(写真⑤)
 ポンプ隊、化学車隊は市内清哲町において
 合同放水訓練を実施する。本日の想定は「タ
 ンクローリーの横転火災と付近の山林への延
 焼防止」です。

⑤放水訓練



⑥レンジャー訓練

十五時 レンジャー訓練(写真⑥)
 救助隊はレンジャー訓練を実施。火災で煙
 にまかれ、逃げ遅れた人を救出する訓練を発
 煙筒を使って実戦さながらに。

十八時 書類整理
 予防査察や各種業務の事務処理を行ないま
 す。

十八時二十分 救急出動
 一一九番入電「三歳の子供の引きつけ」に
 よる救急要請あり、救急一号隊出動。

二十一時 交代で仮眠に入る。(もちろんすぐ
 出動できるようにズボンをはいたままです)

二時四十分 救急出動(写真⑦)
 一一九番入電「国道二十号線にて大
 型トラックと乗用車の居眠りによる事
 故発生」。深夜の静けさをやぶるかのよ
 うに、あのピーポーを響かせながら救
 急二号隊出動。



⑦救急出動

明朝八時三十分 点検交代
 昨日の業務の申し送りを行ない、交
 代すると消防職員の日(二十四時間)
 が終わります。

ほくも幼年消防クラブ員

管内の幼稚園や保育園では、最近ぞくぞくと幼年消防クラブが結成されています。この「幼年消防クラブ」というのは何にでも興味を持ち始め、大人のまねをしたがるような幼児期に、火の大切なことを遊びなどとおして教え、小さい時から防火意識の根を植えることによつて火遊びなどによる火災を防止するためのクラブです。

現在、活動しているクラブは次のとおりです。

西保保育園幼年消防クラブ	五十六名
東保育園	五十七名
穂坂保育園	四十名
藤井保育園	九十七名
穴山保育園	三十三名
円野保育園	六十名
旭保育園	四十三名
竜岡保育園	六十名
中田保育園	四十一名
高根町	
みどり保育園	九十七名



婦人防火クラブも活躍中!

婦人防火クラブとは、家庭に

おける実際の火気取扱責任者である婦人が火災予防の知識を習得し、ガスや電気器具等の安全な使用方法を覚えたり、又、消火器や消火栓、あるいは軽可搬ポンプ等の操作を実際の行動で習得し、地域の防災のなめにならうとする女性が集まって結成したクラブです。

現在次の六つのクラブが活躍中です。

- 蕪井啓子隊長以下百名
- 折井婦人消防クラブ
- 小沢春江隊長以下三十五名
- 須玉町 東小尾婦人消防クラブ
- 白倉百合子隊長以下三十五名
- 長坂町 大井ヶ森婦人消防クラブ
- 板山つた子隊長以下五十名
- 柳沢婦人消防クラブ
- 中込智子隊長以下八十名
- 山高婦人消防クラブ
- 伊藤好子隊長以下四十名



自主防災組織を作ろう!



地震、台風、豪雨などの大災害に見舞われた場合は、電話の不通、道路の不通、火災の同時多発など消防機関の消火活動や救急活動も十分機能を果たすことができません。このような防災活動を行なうのは、ほかならぬ地域住民のみなさん自身です。

「自主防災組織を作ろう!」と思ったら、すぐに消防署へ御相談下さい。組織の作り方が実際の訓練まで指導します。

・付近の大きな目標・かけている電話番号をはっきりと。

(9) ☆12版

昭和60年8月10日

讀

★危険職場★ 公務員の伴う清掃作業員1000人当たりの災害発生件数は、清掃作業員64、警察官27、消防士18、船員17、一般事務6（自治省給与課）。警察官の2倍以上も危険

の伴う清掃作業員の高齢化が進んでいる。『搬入に従事する人に3.5人、悩まされてお環境の改善が』

■住民のマナー 信じるしか：

警察官や消防士より、清掃の仕事の方が危険であることに、ゴミを出す私たちは思いをいたしたことがあるだろうか。死者、けが人の数から言う、清掃の現場はまさに戦場ともいえる。

昨年二月、秋田県男鹿の清掃センターで悲惨な事故が起きた。缶や瓶を細かくする破砕機内で、突然、爆発が起き、近くにいた職員が爆風と鉄板に直撃され、即死した。原因は、ガスの残ったアタンガスボンベ十数本が混入していたためだった。前年の日本海中部地震で大きな被害を受けた同市では、ガス管が随所で破損したためボンベを使うガスコンロが広く使われ、それが大量にゴミとして出していたのだ。



イラスト・祐天寺三郎

不安な毎日 清掃の現場

「ガスボンベやスプレーを捨てる時は、必ずガス抜きをして下さい」と呼びかけていますが、不安な毎日です。住民のマナーを信じるしかありません。坂本善善・同センター所長は、捨てる側のマナーに言及する。

ないて下さい。

二、スプレー缶を捨てる時には、クギなどで必ず穴を開け、圧力抜きをしてから出して下さい。

三、ビニール類、ポリ製品等の

けて出して下さい。

五、台所のゴミは水を切ってから新聞紙などに包み、必ず決められた紙袋で出して下さい。（ビニール袋に生ゴミを入れると水が出てまるでヨーヨーのように

環境衛生センターからのお願い

税金で設置された施設が、大きな損害を受けることにもなりません。

このためゴミを出すときには必ず次のことに注意して下さい。

一、シンナー、ガソリン、灯油、有毒薬品などは絶対に混入させ

石油化学製品は燃焼する際異状高温になり、焼却炉をいためた

り、公害の発生源となるので収集はいたしません。

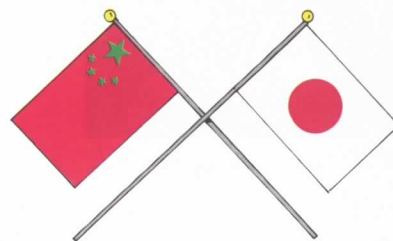
四、可燃物は可燃物の袋、不燃物は不燃物の袋へと確実に仕分

六、市町村が指定する日時、場所以外へは決して出さないで下さい。

まわりの人が迷惑します。

全に燃えませ

チャムス 歓迎 佳木斯市赴日友好訪問団



去る八月十一日に、中国黒竜江省佳木斯市から消防機器や消防体制を研修するため、孟团长（佳木斯市対外友好協会会長）以下六名と、葦崎市立病院で救急医療や看護について学んでいる研修生四名が消防本部を訪ずれました。

佳木斯市は四百万の大都市であります。消防用資器材の普及はまだまだとのこと、コンピュータを使った指令室や大型特殊車両などには特に関心をしめし、担当の職員には熱心に質問を浴びせていました。



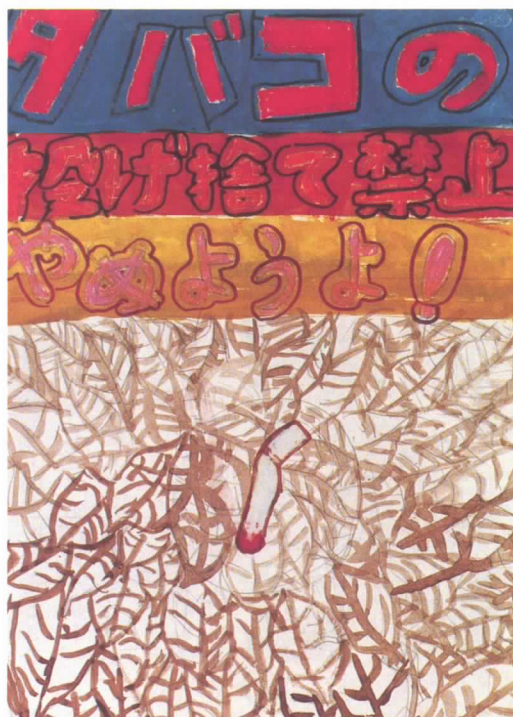
おおあざ こあざ
119番の通報をする時には「住所(大字・小字も)・氏名

銀 賞



双葉東小 小川 幹治 君

金 賞



双葉東小 菊地 茂君

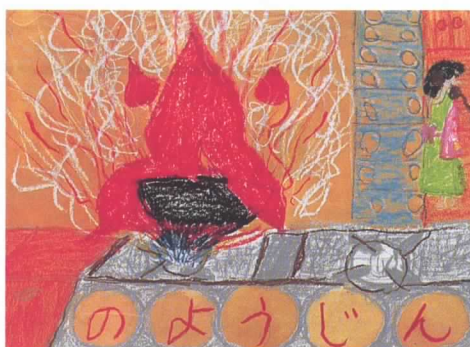
図画コンクール 入賞作品

銅 賞



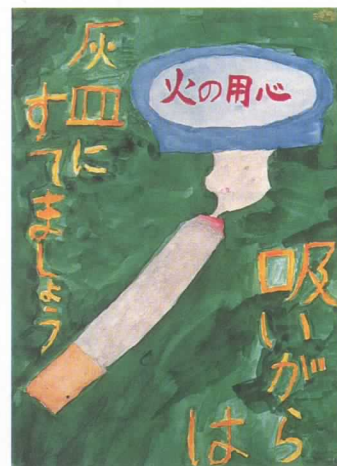
双葉東小 長田 晶子 さん

佳 作



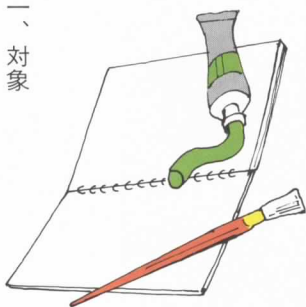
甘利小 千野 由記子 さん

佳 作



江草小 小尾 彰君

- 一、対象
 葦崎市、北巨摩郡下に居住する中学生、小学生、幼児
 - 二、テーマ
 火災予防、防災、救急に関する図画
 - 三、作品提出先
 最寄の消防署、分署、分遣所まで
 - 四、メ切
 昭和六十年十二月十日
- ※作品には、住所、氏名、年齢、学校名、学年を明記して下さい。



図画を 募集します

広報きょうほく第二号で火災予防、防災に関する図画を募集したところ小学生から多数の応募があり、それを厳正に審査した結果、この掲載の五名の方が入選いたしました。また、入選にもれた方の中にも非常に努力のあとが見受けられる作品も多数あり、それらの作品は消防資料室に掲示してあります。